



幸吉のふるさと

日常生活

学校に生徒の声が戻って1カ月が経過しました。やはり、学校は子供の声が響き渡ることがとても大切だと改めて感じています。ステイ・ホームから学校生活に戻るのには、少し苦労したように感じた部分のもありましたが、全体としては大きな変化もなく今を迎えています。これは、ご家庭の協力があってこそだと職員一同感謝しています。

しかし、休校になる前のような生活にはまだ戻れません。授業では3密を回避する工夫を講じて、それぞれの教科の活動に取り組んでいます。文科省から出されている「学校の新しい生活様式」に沿って様々なことに取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。



授業時間の確保



4月、5月の休校に伴い通常行われるはずの授業が行えませんでした。授業がないということは、それぞれの教科で学習すべき内容を学習できてないということです。そこで、以前、教育委員会から連絡がありましたように、1学期を8月7日（金）までとして授業時間の確保を行うことになりました。当初1学期の終業式を行う予定だった、7月17日（金）までは給食がありますが、7月20日（月）以降は給食がありません。授業を確保するためとはいえ毎日お弁当持参で行うことは保護者の方への負担が大きすぎるので、午前中の授業として行います。通常の時程で授業を行うと下校が午後1時半頃になってしまいますので、授業開始を20分繰り上げて行うこととします。生徒は8時10分までに登校となり、保護者の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。



部活動

今年度は、不特定多数の人が多く集まる催しが中止となっています。中学校の部活動の大会もしかりです。県総体は5月末に中止が決定し、その予選会である備前西地区大会も中止が決定しました。備前西地区大会と県総体の間にある、玉野市総体も中止になりました。運動部の3年生にとっては今まで頑張ってきたことを発揮する場が無くなってしまいました。どの大会も大勢の選手や応援者が集まるということで仕方ないのですが、「あまりにも3年生がかわいそうである。」



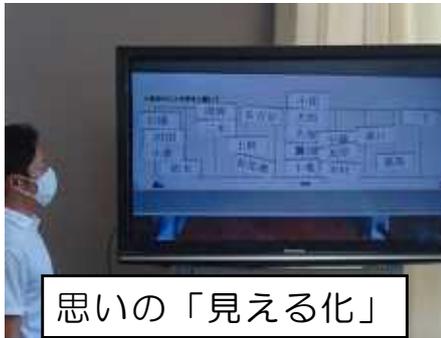
ということで、3年生が今までの練習の成果を発揮する大会を、「玉野市中学校体育大会」として8月25日（火）、26日（水）を基本の日程で開催することとなりました。部活動によっては、様々な理由で日程の変更が行われることがありますので、詳しくは各部活動からの連絡をお待ちください。

研究授業

6月16日（火）1年生の2クラスで道徳の公開授業が行われました。昨年度から「特別の教科 道徳」がスタートしました。平成の時代の道徳は、「正しい価値観」を教え身に付けていくものから、「特別の教科 道徳」では、自分の考えをみんなに伝え、友達の考えを聞き、話し合い、考えを深め、自分のこととして行動に移していくことをねらいとした学習活動に変わりました。まさに、八浜中学校の研究テーマである「教えて考えさせる授業」にぴったりと当てはまるものです。

A・B組とも生徒の思いを「見える化」し、みんなで共有できるような工夫がされていました。また、板書も1時間の授業の様子ができるようにまとめられ、授業の振り返り時の参考となっていました。

諏訪先生、岡村先生にとって多くの先生方に授業を見られ、評価を受けたことで、授業力の向上につながったことと思います。今後の授業に活かしてほしいと思います。



思いの「見える化」



1時間の板書



話し合い活動

東京オリンピック2020

新型コロナウイルスによる感染症の世界的拡大がなければ、7月23日（木）から東京でオリンピックが開催される予定でした。しかし、予定通りにはいかず、1年間の延期となりました。早く治療薬やワクチンが完成し、安心して大会が開催されることを期待しています。

先日、オリンピックの自転車競技のBMX種目の日本代表選手4名の発表が岡山で行われました。皆さんはこのニュースをご存じでしょうか。このうち3名は岡山県に縁がある人たちです。

日本代表BMXレース長迫吉拓（ながさこよしたく）選手は、笠岡市出身で、スイスに本拠地を置き世界の大会を転戦しています。BMXフリースタイルパークの中村輪夢（なかむら りむ）選手は環太平洋大学の学生で本拠地は京都、大池水杜（おおいけ みなと）選手は練習の拠点を岡山にしています。

この度、BMXフリースタイルパーク競技の日本代表監督で協会理事長の出口智嗣さんに「夢」についてお話をさせていただく機会を得ました。日程は未定ですが、2学期になると思います。また、中村選手、大池選手が八浜中学校に来てそれぞれのパフォーマンスを見せてくれるかも… ご期待ください。



自転車を3回転させる
中村選手



空中で両手を離し羽ばたく大池選手